

# 令和5年度 第3回吉川区地域協議会次第

日時：令和5年7月20日（木）午後6時30分  
場所：吉川コミュニティプラザ 3階 大会議室

## 1 開 会

## 2 会長あいさつ

## 3 報告事項

### (1) 会長報告

### (2) 委員報告

### (3) 事務局報告

- ・第2次上越市総合公共交通計画・後期計画「吉川区後期再編計画（案）」について
- ・地区別懇談会について
- ・第25回越後よしかわやっただれ祭りについて
- ・地域活性化の方向性について（春日区、高土区、新道区、金谷区、安塚区）

## 4 諮問事項

### (1) 上越市過疎地域持続的発展計画変更（案）について

## 5 協議事項

### (1) 自主的審議事項等

- ・公民館を含む地域活動の促進と施設の有効活用について
- ・地域独自の予算事業の提案等検討について

### (2) その他

## 6 総合事務所からの諸連絡について

- ・八幡橋の架け替え工事完了について
- ・地域自治の推進に向けたヒアリング調査について
- ・市からの配布物等

## 7 そ の 他

- ・次回地域協議会の日程調整

月 日（ ） 時 分から

吉川コミュニティプラザ

## 8 閉 会



【注】本資料は協議中のものであり、確定したものではありません。

## 第2次上越市総合公共交通交通計画における吉川区内の後期再編計画(案)について

第3回吉川区地域協議会  
令和5年7月20日 資料No. 1

### 【現在の状況など】

#### ■人口(令和5年3月末現在)

総人口	3,544人
15歳未満	226人 6.4%
65歳以上	1,585人 44.7%
75歳以上	879人 24.8%

#### ■地域の送迎サービス(令和5年度時点)

No.	名称	運行主体	区間	運行日
1	スクールバス	市	吉川小学校区	平日
2	地域バス	市	村屋、川谷地区、大賀～吉川診療所	平日
3	サロン送迎	まちづくり吉川	吉川区内	週3回(月・水・金)
4	おらったりのつどい(不定期サロン送迎)	まちづくり吉川	吉川区内	年5回程度
5	内山医院	内山医院	吉川区内	平日

※買い物支援サービスを現在検討中(運行主体:まちづくり吉川)

#### ■バス路線の収支と評価結果

No.	路線	区分	収支等の状況(R4決算見込み)										評価結果
			経常費用(千円)	経常収益(千円)	経常欠損(千円)	収支率	国県補助(千円)	市補助(千円)	年間利用者数(人)	1便当たり利用者数(人)	平均乗車密度		
1	吉川西部循環線	支線	15,014	3,672	11,342	24.5%	0	11,342	26,034(38,038)	12.2(17.9)	4.0(0.9)	IV現状維持	
2	山直海線	幹線支線	31,093	5,739	25,354	18.5%	1,695	23,658	幹線5.2(7.0) 支線1.8(2.5)	2.1(0.9)	IV現状維持 II運行形態の転換等		
3	泉谷・勝穂循環線	支線	11,529	1,359	10,169	11.8%	0	10,168	12,623(18,766)	6.8(10.2)	1.2(0.1)	IV現状維持	
合計			57,636	10,770	46,865	18.7%	1,695	45,168	74,073(104,511)	-	-		

※年間利用者数及び1便当たり利用者数における()内の数値は、平成30年度の利用者数  
※平均乗車密度は各系統の数値(各路線は経由地や起終点により2系統ずつに分かれている)

#### ■利用の実態(乗降調査)

No.	路線	【参考】1日当たりの運行便数(便)		1日当たりの利用便数(便)		1日当たりの利用人数(人)				利用の特徴
		平日	土休日	平日	土休日	平日	一般	学生	土休日	
1	吉川西部循環線	8	2	6	1	36	7	29	1	・吉川中、吉川高等特別支援学校の通学利用が主
2	山直海線	18	6	11	1	76	12	64	2	・吉川小・中、吉川高等特別支援学校の通学利用が主
3	泉谷・勝穂循環線	7	3	4	0	17	1	16	0	・吉川小・中の通学利用が主 ・一般利用が少ない

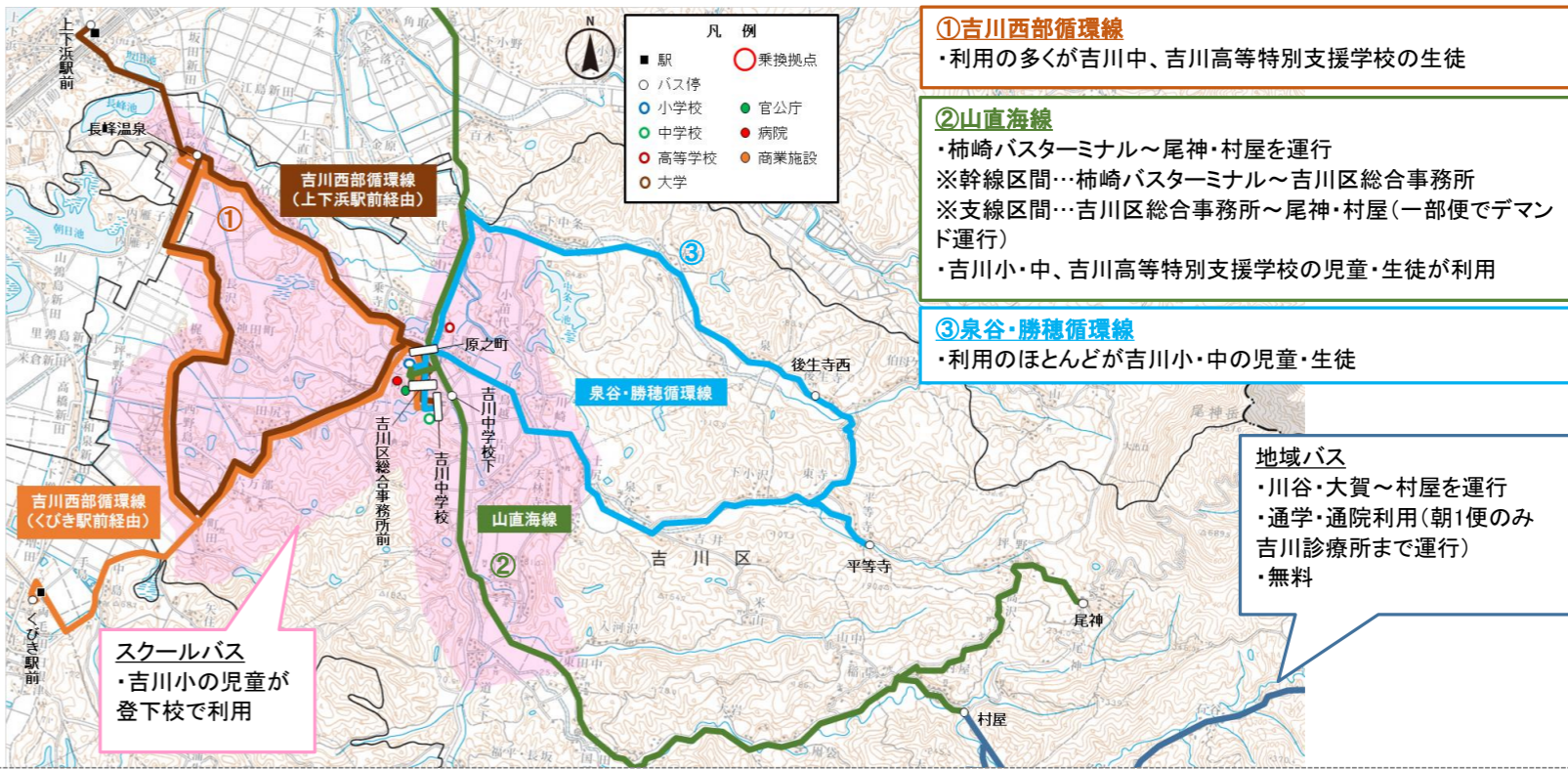
※令和5年1月調査から ※一般/学生の区分は乗降場所等からの推計

### 【再編の方向性(案)】

No.	路線名	区分	主な再編時期	再編の方向性
1	吉川西部循環線	支線	令和9年度までの間に、実証運行を開始	・予約型コミュニティバスに転換し、利便性と効率性を向上(特別支援学校の通学時間帯は定時便を運行)
2	山直海線	幹線	(具体的な時期は今後調整)	・幹線と支線に分割し、運行区間を柿崎バスターミナル～吉川区総合事務所前に短縮
		支線		・予約型コミュニティバスに転換し、利便性と効率性を向上(小中学生の登校時間帯のみ、村屋から柿崎バスターミナルまで定時運行)
3	泉谷・勝穂循環線	支線		・予約型コミュニティバスに転換し、利便性と効率性を向上

※幹線と支線の乗換地点は吉川区総合事務所前

#### ◆再編前



#### 【バスでの通学方法】

- 吉川小学校 ・山直海線(支線)、泉谷・勝穂循環線 ・竹直地区・旭地区ほか一部地域はスクールバス ・川谷地区は地域バスと山直海線(支線)を乗り継ぎ
- 吉川中学校 ・山直海線(支線)、泉谷・勝穂循環線、吉川西部循環線 ・川谷地区・大賀は地域バスと山直海線(支線)を乗り継ぎ
- 吉川高等特別支援学校 ・吉川西部循環線、山直海線(幹線)

#### ◆再編後(案)



#### 【バスでの通学方法】

- 吉川小学校・中学校 ・基本的にスクールバス ・登校時は山直海線(支線)にも乗車 ・川谷地区・大賀は地域バスと山直海線(支線)またはスクールバスを乗り継ぎ
- 吉川高等特別支援学校 ・予約型コミュニティバス(定時便)、山直海線(幹線)

※【地図の出典】国土地理院発行5万分の1地形図を加工して作成



春日区における地域活性化の方向性

《春日の地域活性化に向けて》

上杉謙信の居城「春日山城」を活かした観光振興や歴史文化・交流事業を創出・発展させ、地域の活性化や生活環境の改善を目指します。

○ 構成要素

・ 上杉謙信公の居城「春日山城」を活かした観光振興

・ 地域の歴史・文化を活かした郷土愛の育成

・ 災害に強い地域の自主防災組織の構築

・ 謙信公祭などの歴史文化・交流事業の推進

## 高士区における「地域活性化の方向性」

### 《高士区の地域活性化に向けて》

今ある資源を最大限に活用し、高士の良さと魅力を引き出す。

#### ○構成要素

・高士ルミネを地域ぐるみで支援・協力し、継続・発展させながら、高士の良さと魅力を引き出す。

・若者が主役の活動を通して地域を盛り上げ、高士の良さと魅力を引き出す。

・今ある地域行事や組織運営に新たな発想を加え、高士の良さと魅力を引き出す。

・地区体育大会等の機会を捉えて交流し、次世代を担える人材を育成しながら、高士の良さと魅力を引き出す。

・旧高士スポーツ広場を区民が集える場所として活用しながら、高士の良さと魅力を引き出す。

新道区における地域活性化の方向性

《新道区の地域活性化に向けて》

住みやすい地域づくり

○ 構成要素 (分野)

・ 住民同士の交流 (地域交流)

・ 安全・安心な生活環境 (防災・防犯)

・ 関川河川敷の植栽活動 (環境・景観保全)

## 金谷区における「地域活性化の方向性」

### 《金谷区の地域活性化に向けて》

金谷区のシンボル「金谷山」を中心とした自然・歴史・文化をいかし、人・アイデア・活動が「つながる」地域を目指します。

#### ○構成要素

- ・ 地域住民主体の環境整備活動・史跡保存活動・各種イベントを推進し、さらには持続・継続を目指します。
- ・ 様々な活動をしている地域や団体の情報を広く発信し、地域住民による文化活動や交流活動の活発化を目指します。
- ・ 新しい金谷地区公民館を中心に、更なる交流拡大や広域的な団体間のネットワーク化を目指します。
- ・ 交通の要所である山麓線をいかし、市街地から中山間地まで「つながる」金谷区を目指します。

## 安塚区における「地域活性化の方向性」

### 《安塚区の地域活性化に向けて》

安塚区の魅力あふれる自然と景観をいかし、ふれあいのあるまちづくりを進め、住みやすい地域を目指します。

#### ○構成要素

・ リバーサイドロードや棚田をはじめとする美しい景観の保全と活用

・ 雪だるま高原を核とした交流人口の拡大

・ 雪室を活用した農産物の高付加価値化

・ 直峰城跡等の保全と歴史・文化の継承

・ 地域全体での支え合いによるまちづくりの推進

・ 地域のリーダーや次世代を担う人材の育成